

県政だより
アワーとくしま

OUR
徳島

令和元年 7月号
No.391

「至高の青」

「藍のふるさと阿波」日本遺産認定

阿波藍の新たな
歴史がはじまる。

阿波藍の伝統文化が 日本遺産に認定

古くから日本人の生活に深くかかわり、神秘的なブルーといわれた藍。徳島が誇る「阿波藍」は、日本の代表色として世界から評価されるジャパンブルー（藍色）の歴史を支え続けてきました。東京2020オリンピック・パラリンピックの公式エンブレムにも藍色が採用されるなど国内外で関心が高まる中、今年5月には吉野川流域9市町（徳島市・吉野川市・阿波市・美馬市・石井町・北島町・藍住町・板野町・上板町）が申請した「藍のふるさと 阿波」日本中を染め上げた至高の青を訪ねて〜が、文化庁の日本遺産に認定されるなど、その注目度はますます高まりを見せています。

阿波藍の魅力を 全国、そして世界へ

本県では7月24日を「とくしま藍の日」、7月を「とくしま藍推進月間」、藍色を「徳島県の色」と定める「とくしま藍の日及び徳島県の色を定める条例」に基づき、県を挙げて阿波藍の振興や魅力発信への取組みを展開中。昨年には、阿波藍とLEDの魅力や応用製品を首都圏で発信する「東京常設展示場」のリニューアルオープンや、パリで行われた「ジャポニスム2018」での講演会をはじめ、今年2月には「藍サミット2019 in 徳島」を開催するなど藍文化の継承や藍産業の振興を加速させています。ぜひ皆さんも伝統文化としての阿波藍の魅力を再発見し、さらなる発展を応援してください。

「阿波藍」とは

徳島で製造される天然染料のもととなる「すくも」のこと。藍師と呼ばれる職人が昔ながらの技法を用い、タデ科の植物である藍の乾燥葉を発酵させて作る。阿波藍の製造には1年近い時間を要する。



Youtube
徳島県チャンネル



徳島県公式Twitter



徳島県ホームページ



広報紙Web版



●徳島県メールマガジンとくめる <https://www.pref.tokushima.lg.jp/kenseijoho/koho/tokumeru> ●もっと!OUR徳島+ <https://www.pref.tokushima.lg.jp/kenseijoho/koho/2013042200169>
●点字版広報紙や声の広報をご希望の方は、視聴覚障がい者支援センターへ TEL088-631-1400 FAX088-631-1500 ●県内ケーブルテレビで県広報番組を放送しています。

徳島は宣言する
VS東京